



小鳥

こ と り

44号

令和元年2月吉日発行

障害者支援施設

リハビリセンター王見台

リハビリセンター王見台家族会



〒940-2056 長岡市王番田町 2900 番地

TEL : 0258-28-8800 FAX : 0258-28-8802

E-mail oumidai@circus.ocn.ne.jp

URL http://www.nagafuku-shougai.com/?page_id=13

法人基本理念:「自分や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供」



【リハビリセンター王見台 運営方針】

1. 尊厳を守る支援

利用者の尊厳や意志を尊重し、利用者の立場に立った「個別支援」を提供します。

2. 自立に向けた支援

利用者の持つ能力に応じて、自立した日常生活が送れるよう支援します。

3. 地域生活への支援

地域との交流や連携に努め、利用者が地域での生活を継続できるよう支援します。

「施設看護師の役割と

今後の施設運営について」

看護部長 中島 好子

年号が平成から令和となり、王見台も創立二十周年を迎え、新たな時代のスタートとなりました。

昨年の春王見台に異動し、これまでと全く違う日々を送る中で、施設看護師の役割はどこにあるのだろうかと考えることが度々あります。しかし、何処の場所でも、障害を持つ人々の健康管理や疾病治療、衛生管理を行い、利用者の健康を医療の面から支える役割は共通しています。

王見台入所者も高齢化し、重症度も高く、医療依存度が上がってきている現状にあります。高齢化虚弱化した方々も豊かで充実した生活が送れるようなサービス方法を検討していく必要があると同時に、支援スタッフとの連携のために「看護師の専門性」の理解をどのように進め、何を行えばいいのかを改めて考えていきたいと思います。利用者個々の立場に立ち、寛容で創造力にあふれた施設づくりの実現を目指して、努力して参ります。

これからも王見台の運営にご協力の程、よろしくお願い致します。



ピアノコンサート



今年も渡辺剛さんをお招きして、ピアノコンサートが開催されました。
季節を感じ、昔を懐かしみ、最近の人気曲を楽しみ、皆様心地よく聴き入って
いられました。



ちいさい秋みつけた、パプリカ
負けないでなどを演奏していただきました♪



上映会



王見台では日中活動の一環として上映会を行っています。

これまで、「ドリフ大爆笑」「太陽にほえろ」「山口百恵コンサート」などを上映し楽しんで
いただきました。その中で、利用者さんの一番人気が懐かしのドラマ「西部警察」です。

迫力のあるストーリーに皆さんが続きを楽しみにされています。

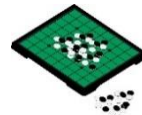


西部警察の上映
中です！

激しいアクションが毎回楽しみです



オセロ交流会



8月9日、当施設の地域交流センターにてオセロ交流会が行われました。

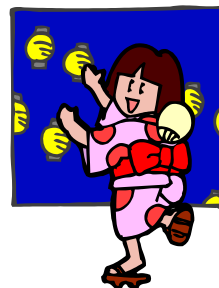
当日はとても暑い中、桐樹園の利用者の皆様にお越しいただき、日々の練習の成果を発揮され
ました。また、熱戦が繰り広げられる中、かき氷がふるまわれ、皆さんの笑顔が見れました。



かき氷
美味しい



秋だ！祭りだ！！ 秋華祭だ！！



ご来場ありがとうございました

今年もたくさんの地域、施設、利用者の方々に作品を出展していただきました。



また、王番田地区よさこい同好会、美祥会、長岡市立西中学校吹奏楽部の皆様イベントにご出演頂き、秋華祭を盛り上げて頂きました。また、他にもイベントの一環として王見台利用者で結成したダンスチームの発表、健康教室(手洗い・脳年齢測定・体力測定)を実施し、たくさんの方々に体験していただきました。



王番田地区よさこい同好会



美祥会



王見台ダンスチーム

販売では、ワークセンターさおう、ワークセンター千秋、ワークセンター寺泊(弥彦)、野いちご工房、ワークセンター小千谷さくらの方々に食べ物等を販売していただき、皆さんおいしそうに召し上がっていました。来場者の皆様、利用者の方々のご協力により、楽しい時間を送ることが出来ました。



体力測定



工芸品販売



パンの販売

★ 上中越地区スポーツ交流会 ★

令和元年9月11日に堀之内体育館にて上中越地区スポーツ交流会（ポッチャ）が行われました。

開会式では、昨年度の優勝カップを返還して、今年も優勝を目指し、王見台からは2チームで参加しました。



昨年の優勝
カップ返還!

なんと王見台
チーム同士の
直接対決!!

第3位
おめでとう
ございます



両チームとも1回戦を勝ち抜き、2回戦では王見台チーム1、チーム2の直接対決になりました。

結果はチーム1が優勝、チーム2が3位と大健闘しました。

日ごろの練習の成果を皆さんが十二分に発揮された結果だと思います。



<すこやかともしびまつり>

9月28日、29日アオーレ長岡で開催されたすこやかともしびまつり2019に参加しました。

リハビリセンター王見台からも、絵画、書道、陶芸等、数々の力作を出品しました。



コットンボールの飾り (利用者共同作品)

小さい風船に刺しゅう糸を巻き付け、ボンド液で固め、乾いた後に風船を割り、作りました。
様々な色の糸を使い、利用者で協力して作りました。



<ハロウィンパーティ>



10月30日、長岡造形大学教授のアンディ先生のご協力で、ハロウィンパーティを開催しました。

恐竜、モンスター、雪男、マフィア等が、続々登場し、利用者様にご挨拶。



まず、先生からハロウィンについてのお話をして頂きました。
次に、野菜、果物の絵がついた英語のカードでゲーム。一人ずつ賞品が手渡されました。
最後に皆で記念撮影。沢山の笑顔に出会いました。



クリスマス会

12月16日に王見台クリスマスパーティーを行いました。
パーティーの最初はクリスマスにちなんだクイズが行われました。



長岡造形大学教授のアンディ先生のサンタクロースが訪れると、皆さんの素敵な笑顔がたくさん見ることが出来ました。

アドベントカレンダーを使ったゲームはとても盛り上がりました。



特集

肺炎予防の必要性について

肺炎は、近年日本人の死亡原因第3位という高い割合を占めています。肺炎とは、肺に炎症を起こす病気のことを指します。この炎症は、細菌やウイルスなどによって起こります。細菌やウイルスは、鼻や口から侵入し、のどを経由して肺の中に入り込みます（図）。健康な人は、この細菌やウイルスをのどでブロック出来ませんが、風邪をひいたり免疫力が落ちている時は、細菌やウイルスがのどや気管を通りぬけて肺まで侵入し、炎症を起こします（図）。この状態を肺炎といいます。肺炎を起こす原因菌で最も多いのは、「肺炎球菌」です。



肺炎で亡くなる日本人の約98%は65歳以上（厚生労働省。人口動態統計2017年）で、年齢が上がるごとに死亡のリスクが高まります。

身近な感染症であるインフルエンザと肺炎球菌感染症。どちらも日頃の予防法として、うがい、手洗い、マスクの着用、そして予防接種があります。インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの二つの併用が推奨されています。肺炎球菌ワクチンを積極的に受けましょう。

また、誤嚥性肺炎は、食べ物や唾液などが誤って気道内に入ってしまうことを指します。誤嚥性肺炎は、飲み込みに関係する機能が低下していることが背景にあります。

80歳代の約8割、90歳では9.5割以上が誤嚥性肺炎であったと報告されたデータもあります。つまり後期高齢者の肺炎のほとんどは誤嚥性肺炎だと考えられるのです。

誤嚥性肺炎の予防

①口の中をきれいに保つ

歯磨きやうがいを励行して、口の中の細菌が繁殖するのを防ぎ、肺に運び入れないようにします。

②胃液の逆流を防ぐ

ゲップや胸やけがある場合は、胃液の逆流が起こりえます。その場合は約2時間ほど座って体を起こしていることで逆流を防止できます。

嚥下障害

食べ物を嚥んだり、唾液や食物を飲むことが出来にくく、次のような症状が見られます。

- ・物が飲み込みにくい
- ・飲むときに痛みや苦痛がある
- ・食べるのに時間がかかる
- ・よだれが出る
- ・飲み込む前後や最中にむせたり咳き込んだりする

年齢とともに低下してくる飲み込みにくさも、右記のような簡単な体操で食事に必要な筋肉を刺激して、唾液の分泌を促し、飲み込みにくさの軽減が図れ、毎食前に行うことで食事をより楽しめます。



より良い食生活と健康のために適切なケアと肺炎予防に心がけましょう



ボランティアの皆様ありがとうございました!



- ・浄願仏教婦人会様（洗濯たたみ）
- ・仏教者ビハーラの会様（ビハーラ法話会）
- ・稲川隆様・金子良次様（リハビリ体操）
- ・片桐秀敏様・関根尚子様（琴・尺八演奏）
- ・王番田よさこい同好会様（舞踊）
- ・アンドリュー・ヴァン・ゴーサム様（ハロウィンパーティー・クリスマス会）
- ・ビューティーケア赤十字奉仕団様（リンパマッサージ）
- ・木村美津子様・林千江子様（洗濯たたみ・イベント補助）
- ・眞島美代子様（陶芸）
- ・渡辺剛様（ピアノ演奏）
- ・久保田祐介様（パソコン指導）
- ・近藤智子様（ダンス指導）
- ・美祥会様（舞踊）

(R元年8月～R2年1月)

職員の動向

【出向元へ復帰】

佐藤 達郎(リハビリ) 桃李園へ
R元年11月1日付

【退職】

由良 克彦(生活支援員)
R元年8月31日付
田之口 繁義(看護職員)
R元年9月21日付
吉田 美由紀(生活支援員)
R元年12月31日付

【出向より復帰】

野水 彰(リハビリ) 長岡西病院より
R元年11月1日付

【転入】

山岸 光太郎(生活支援員) 桜花園より
R2年1月1日付

編集後記 ～新年を迎えて～

家の領収書等は、数年間保存するようにしている。子供が5年生だった時、ランドセルが壊れ、それと保証書があって助かった事がある。

その子供達も大人になり、私は昔のレシートを処分している。その一枚一枚から、我が子との家族旅行や、買い与えた品々が浮かび上がる。幼い子等に手がかかった日々も、受験に向けて共に苦しんだ日々も、永遠に続くわけではない。あなたも、きっと大丈夫・・・。(職員 T)

追伸：ブログを随時更新しているので是非ご覧ください。<http://www.nagafuku-shougai.com/>